


伝える力・聞く力を身に付けるための ICT 活用 「タブレット端末や電子メモパッドを活用した発表活動」

子どもについて	所属・学年	特別支援学校・高等部 1 年
	障がい名等	知的障がい
	子どもの実態 (学习上又は生活上の困難さ等)	<ul style="list-style-type: none"> 日常生活や学校生活において、自分の思いや考えを整理して適切に話す、伝えることに課題がある。(発表の途中で話がそれてしまい、違う内容のことを話してしまったり、何について話したいのか分からなくなってしまうりする。) 人前で発表したり、話したりすることに苦手意識がある。 人の話を聞き、話題の中心やポイントを捉えることが難しい。
授業について (教材・教具を使用した授業や指導場面)	教科名等	職業
	単元(題材)名	単元名「校内実習での気付きについて発表しよう。」
	単元(題材)の概要	<ul style="list-style-type: none"> 各作業班での活動を振り返るとともに、実習の経験から得た気付きや反省について、自分の考えや意見を発表したり、キーワードのメモを取りながら質問をしたりする活動を通して、キャリア意識を高めるとともに、伝える力や聞く力の向上を図る。 生徒が書いたワークシートをその場でタブレット端末を使って撮影し、生徒自身がタブレット端末を操作し、拡大表示しながら発表する。(タブレット端末の基本操作を身につける。) 聞き手は、電子メモパッドを用いて話題のポイントとなるキーワードや疑問点についてメモを取り、発表者に質問をする。
教材・教具支援機器について	教材・教具支援機器	<ul style="list-style-type: none"> ●大型モニタ① レジメ表示用 ●大型モニタ② 生徒が記入したワークシートの拡大表示用 ●電子メモパッド(※各自所有) ●タブレット端末 
	ねらい・工夫点	<p><ねらい></p> <p>○伝えたい内容を整理し、画面上で確認することで落ち着いて話したり、友達の発表から聞き取ったキーワードをメモしながら聞き、分からない点について質問したりする活動を通して、仕事に必要な力について知るとともに、適切なコミュニケーションの取り方について ICT 機器を活用しながら実践的・体験的に学ぶ。</p> <p><工夫点></p> <ul style="list-style-type: none"> 各自記入したワークシートをその場でタブレット端末を用いて撮影し、生徒自身が接続や拡大表示等の操作をしながら発表することで、タブレット端末の基本操作を身につけるとともに、何を伝えたいかを明確にしながら発表することができるようにする。 電子メモパッドを用い、気になったキーワード等のメモを取ることで、話題の中心を明確にし、発表者の話から働くために必要な技能等について知ることができるようにする。 大型モニタを 2 台活用することで、発表する内容・項目を確認、把握しながら安心して発表することができるようにする。
	材料・作成方法等	ワークシート、PowerPoint 資料
子どもの変容や評価		<ul style="list-style-type: none"> ・苦手意識のあった発表活動に自信をもって取り組むことができるようになり、ポイントを明確にして話えるようになった。 ・何度も書いたり消したりすることができる電子メモパッドを用いてメモを取る活動を継続することで、メモを取る習慣が身に付くとともに、人の話を聞き流してしまう場面が減り、聞き直したり、質問しようとしたりする姿が見られるようになった。 <p>⇒ 言語能力の育成・伝える力や聞く力の向上</p>